

「沖縄 Fan Meeting in 台湾 2021(仮称)」

実施業務仕様書

令和 2 年 11 月



1.総則

1.1 業務の件名

「沖縄 Fan Meeting in 台湾 2021(仮称)」実施業務

1.2 仕様書の目的

本仕様書は、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下「OCVB」という)が受託事業者に委託する本業務に関する仕様を示すものとする。

2.事業概要

2.1 事業の目的

コロナウィルスの影響で台湾と沖縄路線は運休し、台湾と沖縄の観光交流が中断している。沖縄ファン、リピーターの多い台湾に向け、沖縄観光への興味、関心の継続維持の為、また、アフターコロナ、沖縄-台湾復便を見据え、ニューノーマルな沖縄観光の情報を発信する必要がある。当該事業では新しい沖縄観光情報を発信するとともに沖縄と台湾をオンラインでつないだ参加型の体験イベントを実施する。沖縄側から講師を用意、台湾側では参加者を募りオンラインでつなぐリアルタイムなイベントを実施。体験によってより具体的に沖縄観光でできることをイメージしてもらい、復便後の目的を持った旅行先の選択肢として沖縄を印象付ける。また、イベントではメディア、及び KOL 等を招聘し沖縄観光 PR の効果的な情報の拡散も目的とする。

2.2 履行期間

契約締結日から令和 2 年 3 月 5 日(金)まで

2.3 日程及び場所(提案)

- 2 月 1 日～2 月 28 日までの期間に 5 回以上イベントを開催する事。
- 期間中に 1 回台湾平和島(中文: 和平島)施設を使用したイベントを行うこと。(12 月～3 月までの時期に台湾平和島で開かれる沖縄イベント会場。)
- 台湾、沖縄共に会場を提案する事。(詳細は 3.2⑤を確認)

2.4 予 算

15,000,000 円以内(税込み) ※予算の 50%程度を情報拡散に使用すること。

3. 要求仕様

3.1 運営・報告

① 運営事務局

- 現地運営側・沖縄運営側の窓口を一本化するとともに、作業分担を明記した実施体制図を提出すること。また、円滑に事業を遂行できるように本事業にかかる担当者を適切に配

置し、責任体制を明確にすること。

- 日本語・中国語での意思疎通が円滑に行える体制を整えること。具体的には、現地に営業所を有する事業者が動ける体制を整えること。
- 実施体制図には現地で作業をする会社・担当者まで明記し、変更等については随時 OCVB に連絡をすること。

② 運営

- Fan ミーティングのイベントは、現地台湾の状況や嗜好、現地旅行会社及びメディア等の情報を収集し効果的かつ遅滞なく実施すること。
- 各業務の企画・運営についてはテーマ、スケジュール等を含め、適宜 OCVB と綿密に協議しその承認を受けること。
- OCVB の示す基本事項(基本計画、日程、記載事項等)をもとに円滑なイベント運営・進行の為にスタッフ配置を含む運営マニュアル(日本語)、進行表・進行台本(日本語及び中国語)等を作成し OCVB の承認を得ること。

③ 報告

- イベント終了後すみやかに実施報告書(記録写真・露出成果物を含む)を提出すること。
- Fan ミーティングの来場者数は当日速報値を報告すること。
- 成果物納品日:令和 3 年 3 月 5 日(金) 納品場所:OCVB 本社
- 成果物一欄は下記の通り

① 報告書(記録写真含む)	3部
② 参加者リスト(出欠確認後のもの)	Excel データ 1 式 ※紙出力版は報告書へ添付すること。 KOL に関しては投稿リンク、アカウントも記載する事。
③ 本事業の制作物及び購入物	部数等は OCVB と相談して決定すること。
④ 記事露出媒体(新聞、雑誌、WEB 記事、SNS 投稿記事等)	原本 各 1 部(紙媒体)※切り抜きコピー版は報告書へ添付すること。 SNS・WEB 記事については公開されていることが分かる形で報告する事。
⑤ その他 OCVB が指定するもの	

3.2 イベントについて

- ① 内 容:体験メニューを含めた沖縄を感じられるセミナー、イベントを1 イベントにつき90分～120分の内容で開催する。4種類以上のイベント開催とし全5回以上の開催とする。
- ② 集 客:1 イベントにつき最小10名から最大20名前後。一つのイベントごとに情報の拡散、プロモーションによる波及効果を最大限に引きだすこと。提案書では募集と参加者選定方法を記載すること。
- ③ 開催期間:令和3年1月下旬～2月中旬までの期間に5回以上開催。
※同一の会場で、午前中に1回開催、午後に1回開催も可とする。
- ④ 情報拡散:当該イベントで新しい沖縄の情報を拡散したくなるような仕掛けを用意すること。現地雑誌メディアをはじめ SNS、WEB ニュース等でとりあげてもらう。KOL やマイクロインフルエンサーを招聘し効果的な情報の拡散を行う。(提案)
- ⑤ イベント会場
- ＜台湾会場＞
- イベントの募集人数にあった会場の提案。
 - 来場者の心に残るユニークベニュー、台湾でも沖縄、日本を感じられる場所等、メディアでも取り上げやすい会場。毎回同じ会場か別の会場かは問わない。
 - メディア、web 等で情報の拡散を行う際に注目・関心を引く魅力のある会場の提案。
 - 沖縄を感じられるリラックスした楽しい雰囲気 of 会場の造りを心がけること。
 - 当日来場客が体験しやすい会場設営を工夫し提案すること。
- ＜沖縄会場＞
- 沖縄側で講師を用意し、台湾へ向けオンラインでコンテンツを説明、セミナー等行う。
 - オンラインで配信できる環境 of 会場の選定。
 - オンライン配信に使用する機材は特に指定はないが画質、音声等には留意すること。
- ＜会場設営＞
- 会場の設営(必要備品の手配含む)については、大型モニター及びプロジェクター等使用し、音声は必要と想定される場合、マイク、スピーカーを用意した提案をすること。
 - イベントに必要な備品は事前にリストを作成し OCVB の承認を得る事。
- ⑥ 来場者:1 回のイベントにつき台湾客数最小10名～最大20名を想定。1つのイベントごとの集客は多くないが情報の拡散、プロモーションによる波及効果を最大限に引きだすこと。(提案)
※集客にお土産・抽選会等が有効と思われる場合は企画及び見積に反映すること。
- ⑦ 体験メニュー内容:
体験方法及びコンテンツの提案、以下2コンテンツは実施必須とする。
紅型染体験、サンゴの植え付け体験セミナー(城紅型染工房、恩納村観光協会等)
他のコンテンツに関しては下記ジャンルから選定し提案すること。ジャンルを掛け合わせた提案も可とする。

(ア) 文化体験(例:三線工房からお届けするカンカラ三線講座、首里城下町歩きと首里城クラフト作り体験等。)

(イ) 環境に配慮した体験(SDGsを意識した体験)(例:サンゴの植え付け体験セミナー等。)

(ウ) 料理体験(例:野菜ソムリエによる沖縄料理遠隔講座、沖縄の塩を使った塩料理作り体験等。)

(エ) アウトドアアクティビティ体験(例、キャンプ・アウトドアで飲むコーヒー講座、手作りキャンプ飯体験。沖縄アロマと自然の中での YOGA 体験等。)

(オ) その他、より効果的な体験の提案。

⑧ 受付:円滑な受付方法の提案及び当日対応

⑨ 通訳手配:

➤ 体験イベントをサポートできる通訳を手配すること。通訳レベルは一般商談の逐次通訳経験者。中国語⇔日本語

※通訳の最終人数は、イベント参加者の申込数によって変更の可能性がある。

⑩ その他:

➤ イベントは材料費等を徴収する有料イベントとしても開催可能だが、受託者が利益を出すことは禁ずる。また、その場合、収支の報告にて明示すること。

➤ 当日の配信は録画し、コンテンツによってセミナー動画として2次使用できるものは編集し納品する事。

3.3 情報発信および情報の拡散

➤ 参加者の SNS を活用した情報発信を促す工夫の提案をすること。

➤ イベントをきっかけとした沖縄の魅力を発信、沖縄旅行への関心の継続、復便後の来訪意欲の向上を促進するような情報発信の工夫を提案すること。

➤ 本イベントに係る、情報の発信、拡散する露出方法を提案すること。例えばキャンプ・アウトドアアクティビティ関連イベントにはアウトドア系媒体の招聘を行い発信するなど。

➤ 毎イベントにそれぞれテーマにあったメディア、または KOL を 1 名以上招聘し、沖縄観光の情報・魅力を発信させること。企画提案書では選定した媒体の情報、KOL の情報と選定の理由、情報拡散の期待できる効果予測を示すこと。

➤ 紙媒体発行のみの媒体は避け、情報の効果的な拡散を目的に WEB 媒体を中心とすること。

4.著作権・特許等

➤ 本業務で使用する文章、写真、図版、デザインなどは全て第三者の著作権を侵害しないものとする。

➤ 本業務の成果物に係る OCVB が提供する物を除く、日本国著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含めすべて受託事業者において責任

を負うものとする。

- 日本国著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- 雑誌、メディアへの掲載時に係る著作権に関しては応相談とする。

5.委託事項の厳守・守秘義務

- 受託者は、本契約業務の実施に当たって、関係法令、条例及び規則等を十分に遵守すること。又委託することが合った場合においても受託者が管理・責任を行うこととする。
- 受託者は、本契約の履行により知り得た業務委託の内容を第三者に漏らしてはならない。

6.第三者委託の禁止

- 本委託業務は、原則として第三者に委託させてはならない。ただし、事前に OCVB と協議し、承認を得た事項については、第三者に委託して行うことができる。
- 前項の規定にかかわらず、通訳業務、印刷業務等については、その性格上、専門の業者等に委託することを認めるものとする。ただし、委託内容については、事前に OCVB に報告するものとする。

以 上